

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	洲本市立青雲中学校 職・氏名 教諭 斉藤 幸弘	研究チーム名 ( 青雲中学校2学年団 )
-------------	----------------------------	-------------------------

研究テーマ分類番号 ( 2 1 )

(1) 研究テーマ	
学習活動の支援と成果を社会に生かす仕組みの構築 ～支え合い教え合い高め合う集団づくり～	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
4月13日	<p>班長会 内容：各クラスによる班づくり、役割分担 目的：班員をよく把握し、理解する班運営 方法：班長が各班員の適性を考え、班長会で班と班員を決定する。</p>
4月20日	<p>学年集会 内容：トライやる・ウィーク各事業所別のグループ決定 課題：班長未経験者も多く、消極的な者ばかりのグループもある。 成果：各グループリーダーが決定し、責任感が向上。</p>
5月30日	<p>お礼の手紙・新聞作成 (～6月3日) 内容：各事業書宛にお礼の手紙を書く。各自トライやる新聞記事を書く。 成果：事業所から好評により、振り返ってみて友人の社会的な力量を再発見することができた。 手紙や記事の内容について教え合い、相談して仕上げることもできた。</p>
7月15日	<p>学年集会 内容：1学期の反省及び2学期にむけて。部活動・生徒会の中心となる心構えについて 成果：この集会以降、学年集会は生徒によるあいさつ、司会進行となり、生徒の意欲が高まった。</p>
9月 5日	<p>学年集会 内容：体育会にむけてのとりくみについて 成果：学級対抗種目の猛練習・各クラスの団結を確認し、リーダーの指導力が向上した。</p>
10月17日	<p>学年集会 内容：秋季校外学習・文化祭にむけてのとりくみ パートリーダー中心にコーラスづくり 成果：昨年度に比して著しい向上が見られた。(講評より) パートリーダー中心に向上することができ、班長らもリーダーをサポートするようになった。</p>
11月16日	<p>学活 内容：生徒会活動について 選挙管理委員会より主旨説明 成果：予想以上の立候補者あった。いずれも班長会等でよく育ったリーダーばかりである。</p>
12月 9日	生徒会役員選挙
1月	修学旅行の調べ学習 (予定)

